



旭志小学校だより 第14号

令和6年12月23日
文責 校長 高尾 和史

やさしく げんきに しんけんに

令和6年度
学校教育目標

「ふるさとを誇りに思い、夢に向かって
みんなで伸びゆく 旭志っ子の育成」

「明日は いい日になる」 子育て・人権教育講演会

1948年12月10日に開催された国連総会で「世界人権宣言」が採択されました。これを記念して12月10日を「人権デー（Human Rights day）」と定め、世界中で人権の大切さを学んだり人権について考えたりする学習やイベント等が行われています。日本では12月1日～10日を「人権週間」と定め、全国各地で様々な取組が行われています。

旭志小でも11月から12月を人権月間として、人権学習や人権集会、職員研修、ふるさと懇談会（地域啓発）等に取り組んでいます。12月17日の「学校へ行こうDAYスペシャル」では、旭志中校区保小中連携



推進協議会事業も兼ね「子育て・人権教育講演会」を実施しました。熊本県人権教育研究協議会副会長で上天草市立中北小学校校長の杉本敏也さんをお招きし、「明日はいい日になる」と題してお話ししていただきました。「人の温かさを感じながらつながっていくなかまづくり」や「子ども・親・家族がいい顔になる、家族がつながる人権学習と人権のまちづくり」について、笑いあり感動あり、そして深く考えさせられた1時間でした。寒い中70名を超える皆さんに参加していただきました。ありがとうございました。

差別やいじめのない学級・学校・地域をめざして

6年生人権学習授業研究会・4年生集会

旭志小・中の全職員、菊池郡市小中学校の人権教育主任等が参加して、12月11日に6年生の人権学習授業研究会、18日に4年生集会を開きました。

6年生は日本初の人権宣言である「水平社宣言」を題材に、宣言に込められた思いや願いを知り、自分たちのくらしや学級を見つめ直し、気づいたことを伝え合う姿がありました。6年生として一人ひとりの子どもたちが成長した様子を嬉しく思いました。4年生集会では、「親子学習」を通して親のおもいや生き方を学び、自分と重ねてくらしを見つめることで気がついた、自分のことや身の周りにおける差別について綴り、それを伝えていきました。そして、その訴えを自分のくらしに重ねて「返し」を伝え合う姿がありました。真剣に聞き、考え、発表する4年生たちの成長を強く感じました。

これらの学習を通して、この先もずっと、伝えられたおもいを真剣に受け止め、心から共感し、差別やいじめを許さず、差別やいじめをなくしていく「なかま」としてつながっていく子どもたちを育てていくことができるよう、全職員で取り組んでいきます。



6年生授業の様子



4年生集会の様子



なかよしフェスタ 大成功でした！

11月28日に「なかよしフェスタ（菊池市小中学校特別支援学級等学習成果発表会）」が菊池市総合体育館で開かれました。ほたる学級で学ぶ子どもたちが育てたり作ったりした野菜や様々な飾り等の販売、話合って準備した楽しいゲームでの交流活動に取り組みました。日頃のほたる学級での学びの成果を発揮し、殆どが売り切れとなり、他校の児童生徒や教職員・保護者等の参加者との交流も深めることができました。



今年も旭志小へ頂いたたくさんのご支援・ご協力に感謝申し上げます。よいお年をお迎えください！